

企業市民

地域社会に密着した多彩な活動も展開しています。

大成ロテックは、環境配慮型の技術・工法の開発などを通じて、広く社会に貢献しています。それと同時に、全国の各支社・事業所単位で、地域行事への積極的な参加はもちろん、地域の特性を考慮した自主的な活動も展開。地域に溶け込み、地域の人々との相互理解と交流を深めています。

事業所単位で多彩なボランティア活動を展開 [北海道支社]

道央事業所では、札幌市西区地域振興課が推進するアダプトプログラム*に参画し、定期的な道路清掃を実施。また、道立室蘭豊学校のグランド整地(道南事業所)、町立富川小学校前の道路補修(日苫事業所)、釧路大規模運動公園の美化・清掃、藻琴山展望駐車場公園の除雪・清掃(道東事業所)、旭川市平和通買物公園の美化・清掃、遠別町立病院の駐車場補修(道北事業所)など、さまざまな活動を展開しています。

北海道支社では、このような地道な活動を継続し、地元根ざした企業として、地域交流を深めています。

*アダプトプログラム:企業などが道路や公園など公共の場所の里親(アダプト)となり、定期的・継続的に清掃活動を行い、行政がこれを支援する仕組み。



東京国際空港工事で福祉施設加工品を使用 [関東支社]

京浜事業所では、社会福祉法人が作成した絵入りの「スズラン灯かさ」などの加工品を羽田空港内の工事現場で使用し、現場のイメージアップに貢献。同時に、近隣の方や通行者から好評を得ています。昨年12月には、関係者や作成した施設関係者45名を招いた現場見学会が実施され、発注者の関東地方整備局から感謝の言葉をいただきました。



スズラン灯かさ

鴨川クリーンハイクに参加 [関西支社]

京阪事業所では、京都の象徴でもある鴨川をきれいにするため、河川の清掃活動を行っています。昨年10月には、「鴨川を美しくする会」が主催する「鴨川クリーンハイク」に、同事業所所属の社員とその家族が参加。清掃用品として社名入りの軍手1000組を提供しました。



技術研究所

環境技術をメインテーマに、時代の最先端ニーズに対応した開発・研究を推進しています。

大成ロテック技術研究所(埼玉県鴻巣市)は、昭和39年の開設以来、道路舗装の材料、工法の開発研究、基礎技術、応用技術の研究を行っています。また、常にその時代の社会ニーズに目を向け、研究テーマを決めています。



技術研究所(外観)

社会や時代が必要としている技術テーマを設定

アスファルトやコンクリートなど、舗装に用いる材料や施工方法・施工管理手法に関連した開発研究をはじめ、自然と生活環境の改善など、社会と時代のニーズの変化にも対応した活動を展開しています。

近年、温暖化やヒートアイランド現象など、私たちの生活において環境問題が大きな問題となる中で、研究所においても環境に配慮した開発に重点を置いています。具体的には、中温化アスファルト混合物によるCO₂発生量の削減、保水性舗装、遮熱性舗装などによるヒートアイランド対策としての環境対策技術をはじめ、寒冷地における路面凍結の防止、天然土を利用した土系舗装など、安全性、自然および地域性に密着した研究を続けています。



実験通路

情報発信・研究会活動

技術研究所では、研究開発業務のなかで得られた知見を日本道路会議、土木学会全国大会や、公的機関誌などに積極的に発表(情報発信)し、環境の保全、安全安心な国民生活の確保、利便性の向上に貢献しています。

■発表論文集・機関誌リスト(1995~2011)

発表先	発行機関	件数	その他の発表機関誌
日本道路会議論文集	日本道路協会	138	EXTEC、コンクリートテクノ、 コンクリート工学年次論文報告集、建設の機械化、 建設機械、地盤工学研究発表会、土木施工、道路、 農業土木学会大会講演会要旨集、 セメント・コンクリート、セメント・コンクリート論文集、 国土技術政策総合研究所報告、大ダム、 ダム技術講演討論会テキスト、土と基礎、土木技術、 土木技術資料
土木学会 年次学術講演会講演概要集	土木学会	136	
土木学会 舗装工学論文集	同上	24	
土木学会 論文集	同上	15	
北陸道路舗装会議技術報文集	北陸道路舗装会議実行委員会	12	
舗装(機関誌)	(株)建設図書	65	
道路建設(機関誌)	日本道路建設業協会	36	
アスファルト(機関誌)	日本アスファルト協会	17	
アスファルト合材(機関誌)	日本アスファルト合材協会	7	
あすふあるとにゆうざい(機関誌)	日本アスファルト乳剤協会	5	
その他の機関誌など		49	
合計		504	

また、日本道路建設業協会が2年に1回募集する懸賞論文にも積極的に応募し、直近の10年間で、3等以上が8件(大手舗装会社8社中1位)の入賞実績を誇っています。

さらに、舗装に関する各種技術研究会に参画し、自社技術レベルの向上や、技術の標準化、普及活動にも取り組んでいます。

■参加研究会と活動概要

研究会名称	活動概要
つくば舗装技術交流会	舗装に関する試験・研究の合理的かつ効果的な立案・遂行と舗装に関する新技術・新工法の発展に資することを目的とする。
路面温度上昇抑制舗装研究会	保水性舗装技術研究会と遮熱性舗装技術研究会が統合して発足した研究会で、ヒートアイランド現象の一要因とされる路面温度の上昇を抑制する技術の普及活動。
凍結抑制舗装技術研究会	冬期における道路交通の安全性確保を目的とした凍結抑制舗装の技術の向上と普及及び性能評価方法の確立などの活動。
地球温暖化対策技術(民生用)研究会	温暖化対策技術の開発・普及に取り組んでいる民間と環境省との政策対話、また、民間同士の連合による新たな技術の普及化活動。
ブロック・自然石舗装構造研究会	製品会社、道路建設会社、大学等で構成され、車両通行用途に対応可能な湿式工法によるブロック系舗装の設計施工要領(案)の作成を目的に活動。